

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

986

医療費適正化特別対策事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	4	社会保障制度の充実
取組方針	4	国民健康保険制度及び後期高齢者医療保険制度の適正な運営

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	国民健康保険事業特別会計		
	款	総務費		
	項	総務管理費		
	目	医療費適正化特別対策事業費		
	大事業	医療費適正化特別対策事業		
中事業	医療費適正化特別対策事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 国保年金課 宮井 雅司 435-1057
事業実施の根拠法令	国民健康保険法		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	医療の高度化に伴い、国保財源を圧迫している医療費を適正に抑える		<ul style="list-style-type: none"> レセプト管理・レセプト点検・レセプト2次点検・柔道整復等のレセプト点検・過誤調整の強化 第三者行為傷病届、海外療養費、ジェネリック医薬品の啓発 柔整師鍼灸師、被保険者への文書照会 医療費通知(年6回)、後発医薬品(ジェネリック)利用差額通知(年2回)の作成発行 			
事業内容	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	
	国保連合会にレセプトの内容点検を委託するとともに非常勤職員による国保資格確認を行い医療費の適正化を図る。ジェネリック医薬品の利用促進に取り組む。	国保連合会にレセプトの内容点検を委託すると共に、非常勤職員による国保資格確認を行い医療費の抑制を図る。ジェネリック医薬品の利用促進に取り組む	国保連合会にレセプトの内容点検を委託し、非常勤職員による国保資格確認を行うと共に、ジェネリック医薬品の利用促進にも取り組み医療費の抑制を図る	国保連合会にレセプトの内容点検を委託し、会計年度任用職員(資格職)による資格確認を行うと共にジェネリック医薬品の利用促進に取組み医療費の抑制を図る		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	52,201	45,030	49,312	45,210	49,391	42,523	49,415	0	0	0
伸び率(%)	△2%	6.7%	△5.5%	0.4%	0.2%	△5.9%	0%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	11,189	10,710	10,793	15,061	16,163	14,491	14,571	14,571	0
	正規職員以外	7,121	6,814	6,547	7,414	7,997	7,976	11,226	11,226	0
	小計	18,310	17,524	17,340	22,475	24,160	22,467	25,797	25,797	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	18,779	22,254	21,857	23,818	22,468	22,716	22,266	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	50	39	48	40	53	45	51	0	0	0
一般財源(税等)	33,372	22,737	27,407	21,352	26,870	19,762	27,098	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	1.40	1.34	1.34	1.87	2.03	1.82	1.83	1.83	0.00
	正規職員以外	2.87	2.87	2.87	3.25	3.44	3.43	5.18	5.18	0.00
主な予算内訳	通信運搬費17,234千円 レセプト点検委託料10,882千円 電算共同処理等委託料9,058千円 画像管理委託料9,165千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
レセプト2次点検実施数		件	目標値					
			実績値	1498742	1469608	1344151		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
全レセプトの点検実施割合		%	目標値	100	100	100	100	
			実績値	99.9	99.9	100		
			達成度(%)	0%	0%	0%	%	
ジェネリック薬品数量シェア		%	目標値			80	80	
			実績値			79		
			達成度(%)	%	%	98%	%	

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				できない
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>給付事業の高齢化及び申請件数が増加している現状において、レセプトの点検・再審査による減点及び医療費通知・ジェネリック医薬品の差額通知により、医療費に関心を持ってもらい、自己負担の軽減・医療費全体の抑制につながることを目的とする。</p>
見直し・改善内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリック医薬品の活用ミニガイドや啓発ポスターの配布先をさらに広げ、ジェネリック医薬品のわかりやすい情報をお届けし、使用用促進に努める。 ・第三者求償の申請勧奨を引き続き行くとともに、求償待機の案件を減らし公平な負担により医療費の適正に努める。